



# 平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly



ロータリーは  
機会の扉を開く

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：鳥山 優子 副会長：清水 雅広 幹事：江藤 博一 クラブ会報委員長：葛西 敬

例会日 毎週木曜日 12:15～13:30

会場 グランドホテル神奈中 2F

事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内

連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2020年 9月10日 第 3275 回 週報第 3275 号

本日 9月10日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 45(44)名	出席率 71.43%			
前々回 8月27日	会員数 64名	対象者 62名	出席者 48(48)名	出席率 77.42%	MUP 1名	計 49名	修正率 79.03%

## 本日の卓話者ご紹介

横浜銀行 平塚支店  
支店長 永井太郎会員



## 卓話

### 「入会記念卓話」

## 永井太郎

皆様、こんにちは。1年半前の4月に前任の勝田支店長から引き継ぐ形で横浜銀行平塚支店に着任しました永井です。今年は年があけてからコロナ渦の騒動であつという間に9月になってしまったという印象があります。今回は伝統ある平塚ロータリークラブの卓話に指名されましたが自分のこれまでの生い立ちを中心にお話したいと思います。

### 【生誕～高校】

私は西暦1967年に埼玉県で生まれました。当時の写真でみると駅前小さなマンションですが、演出家かつ映画監督の蜷川幸雄氏が同じマンションに住んでいて、良く頭をなでられていたと両親から言われます。蜷川監督は素晴らしい作品をその後演出・製作され、非常に尊敬できる文化人であり今でも尊敬しております。

その後、2歳のときに横浜市に転居しました。当時は男の子には仮面ライダーやウルトラマンが人気でしたが、大人気であったウルトラマンタロウの撮影が自宅近所で頻繁に行われ、出演する隊員や特別仕様車をよく目撃し、子供心にドキドキしたのを覚えています。ウルトラマン

タロウの主演は篠田三郎氏でしたが今でも当時の面影そのまま素晴らしい名優だと思っております。

高校は地元の県立高校に進学しました。当時は規則が非常に緩く自由な校風が特徴でした。バイクの免許取得や髪の毛のパーマ、アルバイトは自由でとても楽しい高校生活でした。当時の仲間とは今でも定期的に会って昔懐かしい話でとても盛り上がります。3年間の内、2年間の担任がラグビーの体育教師で非常に厳しい先生でして、体育授業もその先生の主観なのかラグビーが中心でした。しかし、お蔭でラグビーのルールに詳しくなり、その後のラグビー観戦が趣味になったことを考えると厳しい先生ではありましたが感謝多々です。ラグビーは今でも年に数回は観戦に行きます。

### 【大学生生活】

大学は1986年に入学しましたが、その前年度に世界的に大きな環境の変化がありました。いわゆる「プラザ合意」です。「プラザ合意」は1985年に米国ニューヨークのプラザホテルで先進5か国の蔵相が集まって決定されたドル高是正への意思統一ですが、その後1年間で円/米ドルの為替相場が1米ドル250円台から150円台へと1年間で約半分程度にまで円高が進みました。

同時に日銀当局も金融緩和政策を進行させた結果、日本がバブル経済に傾斜していくのですが、大学生にとっては海外旅行に行き易い環境下となり、在学中に海外旅行に何度も行ったのは良い思い出です。香港、米国、ヨーロッパ数か国と各地を旅行し様々なことを学びました。円高局面とはいえ旅行費用は相当かかり、社会人になって返済するまで相応に時間を要しましたが無理をしても強行し、今では本当によかったと思います。自分としては、特にベルリンの壁が崩壊した直後の東ドイツを観光できたことが印象深く、西ドイツと東ドイツとの経済格差、すなわちこんなにも建物、飲食店、衣服、自動車の型式が違うのかということに驚愕したのを鮮明に覚えています。

### 【社会人】

大学を卒業して横浜銀行に入行しこれまでの30年間で9回異動の辞令が出ました。各店でそれぞれ思い出はありますが、自分としては東京支店時代の金融庁検査と国際部での財務省検査が感慨深いです。金融庁検査は現在TBSテレビでやっている半沢直樹と黒崎検査官のイメージがありますが、当時の金融当局のスタンスを鑑み

ればあながち的外れではないと自分は感じています。ただ、実際のところは検査官との緊張感のある質疑応答は非常に学ぶ所が多く、また財務省検査では日本の経済制裁国への検査官の真摯な対応、熱意ある指導は非常に勉強になりました。

現在の平塚支店では自分のモットーとして若手育成に力を入れています。最近の若者は政府統計では就職してから3年以内に30%が退職します。これは仕事のおもしろさがわからないからだと考え、様々な工夫をして仕事の面白さ、仲間との連帯感、チーム力感覚を身につけています。ちなみに今年は5人の新人を3チームに分けて平塚、大磯、二宮の歴史、名所、観光、人口統計等を勉強してもらい、社員全員の前でプレゼンする機会を設けました。これも若手育成、人材育成と考え、まだ道半ばですが日々邁進しています。いずれはその若者達が成長して強い組織を作ってくれることが、横浜銀行がお客様さまに十分なサービスを提供できることにもつながると確信しています。

本日は私の非常につたない卓話ではありましたが、ご清聴ありがとうございました。



## 会長報告

皆さんは、自分の会社で部下が報告、連絡、相談、いわゆる報連相をしてくれなくて困ったことはありませんか？報連相がないと、「なぜ報告しなかったんだ」と部下を叱ることもあるかと思います。

しかし、この問題の解決方法は、部下を叱ることではありませんね。あるひとの話によれば、部下に報連相をさせたいのなら、まずは私たち上司が報連相をすべきだといひます。

これには3つの理由があります。ひとつは報連相の基準を示すことができるから。部下は何を報連相していいかわからないことが多いです。なので、その基準を示すために行います。

二つ目の理由は、話しやすい雰囲気を作ることができるから。部下からすれば上司は忙しく話しかけにくい雰囲気があります。でも上司から報連相すれば、「じゃあ私も」

と部下が報連相しやすくなります。

最後の理由は、部下に自分は必要をされていると感じてもらえるから。私たち上司は決まったことだけ部下に伝える「連絡」はよくしますよね。しかし連絡だけだと、部下は次第に受け身的になり、「どうせ自分が何を言っても意味がない」と報連相に消極的になってしまいます。一方私たちが連絡だけでなく報告や相談までするようになると、部下は自分が頼られている、必要とされていると感じてくれるようになります。

実際私は従業員に「これってどうしたらいいと思う？」と相談を持ち掛けます、そうすることで従業員からも報連相がされやすくなりました。さらにそれによって新しいアイデアやひらめきにつながることも出てきました。さて、新約聖書ルカの福音書にこんな言葉が書かれています。

“与えよ、さらば与えられん”

この意味は、人から何かを与えられたいのなら、まず自分から与えようという意味です。

私たちロータリアンは奉仕の理念を持っているため、世界の隣人や社会に対して、自然に与えるということができています。しかし、これが部下になると「なぜ、報告しなかったんだ」と与えてもらうことが当然だと思ってしまう。報連相であっても、まず与えるべきは私たちの方なのではないでしょうか。

ロータリーに上司と部下という関係はありませんが、ロータリーにおいても報連相が重要だということは言うまでもありません。ソーシャルディスタンスで物理的な距離ができてしまう今だからこそ、コミュニケーションはより密に、より風通しよくしていきたいと思っています。

皆さんも、立場に関係なく、積極的に報連相しあえる関係を目指していきましょう。



入会記念卓話をされた永井太郎会員と



## 幹事報告

## ◎20-21 年度地区大会は 10 月 18 日(日)鎌倉芸術館にて 1 日開催となりました。

コロナウィルス感染の影響を考慮し、今年度は会長・会長エレクト・及び幹事のみのお出席となります。これによりまして、予定しておりました 10 月 15 日(木)の地区大会への移動例会は通常例会に変更となりますので、ご注意ください。



地区委員会報告をされる三荒地区増強・会員維持委員

## 委員会報告

## 【地区出向者からの報告】

## 地区会員増強委員会 三荒会員

今年度、地区会員増強・維持委員会に出向しております三荒です。会員増強、維持において今年度はコロナ禍において、ガバナー月信を見ていただき、ご存知の通りかもしれませんが、6月末の会員数が地区で100名減、7月末で4月以降19名の増強となっておりますが、コロナ禍において増強、維持がなかなか上手くいかないクラブがたくさんあることに、地区のなかでの増強委員会として懸念しております。地区のなかでも平塚クラブは増強というものには、あまり苦労していないクラブに入るのではないかと思います。

そのようななかで、増強維持委員会は大きく舵を切り8月は会員増強月間でしたが、コロナ禍において、まだ例会が開催できていないクラブが多くあり、昨年は40以上の卓話の依頼がありましたが、今年度においては2クラブ程度しかありません。

そのなかで、今年の増強委員会は1年間を通してクラブ卓話にかかわり、卓話だけでなく増強に関する会議等にも参加することになりました。一生懸命各クラブに寄り添って委員会活動を行ってまいります。

9月8日に地区会長・幹事会があり、いろいろ各クラブの状況を拝聴する機会を設けました。また、増強につ

いて卓話もさせていただけるとのことでしたので、引き続き増強・維持の大切さを例会を通じて伝えてまいります。

## ○地区青少年交換委員会 元吉会員

先日の9月5日辻堂のアイクロスで2019年度青少年交換派遣学生報告会が行われ、地区公共イメージ委員会の小林会員にもお手伝いいただき、地区のfaceBookのライブ配信を行いました。何人かご覧になっていた方もいらっしゃったかと思えます。

また、10月3日には2020年度の青少年交換留学生の候補者説明会を予定しております。ただ、この状況なので行かれるかどうかという状況下ですが、状況を踏まえて説明をさせていただくこととなります。



永井会員のサポートをして下さった横浜銀行の三本様

メークアップ (MUP) 1名

常盤卓嗣会員

本日のスマイル 23名

ゲスト 1名

横浜銀行 三本 穰(みつもと じょう)様

ビジター 0名

## 卓話・行事予定

9月17日(木) 東海大学国際学科 教授貴家勝宏様  
9月24日(木) 入会記念卓話 浅野 康会員

## 市内例会変更

平塚西ロータリークラブ

9月23日(水) 休会 ⇒ 財団セミナー報告  
9月30日(水) 移動例会 ⇒ 休会

